

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 8 月 12 日

評価対象事業	文観 - 23	商工運営事業	☐ 法定受託事務				
所管課	文化観光部 産業課	評価者	産業課長 角田 如生				
一般	会計	款	35	項	5	目	5
総合計画上の位置付け	分野名	産業振興	施策の方針名	商工業振興の充実			

1 事業の目的

対象	事業者等	意図	商工業の振興、物産振興を図るため
効果	地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度：年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・鎌倉市商工業振興計画の進行管理 ・姉妹都市物産展の開催	・鎌倉市商工業振興計画の進行管理 ・姉妹都市物産展の開催 ・公衆浴場の設備整備に対する支援	・鎌倉市商工業振興計画の進行管理 ・姉妹都市物産展の開催 ・公衆浴場の設備整備に対する支援
予算額（千円）	924	1,250	
国県支出金			
地方債			
その他	417	426	
一般財源	507	824	0
当初人員配置数	0.2	0.4	0.0
人件費（千円）	1,707	3,530	0
事業実績	・鎌倉市商工業振興計画の進行管理 ・姉妹都市物産展の開催		
決算額（千円）	709		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	709	0	0
人員配置実績数	0.2	0.0	0.0
人件費（千円）	1,657	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						(上段実績、下段経費（千円）)		
活1	指標名	商工業振興計画に基づく各施策の取り組み評価（4点満点）	点	3.1	㍲	3.0		
	実績につながる活動	産業課が実施する創業支援、中小企業等への経営支援、企業立地支援、商店街の活性化、ものづくりの伝承等について、鎌倉市商工業推進委員が評価				276		
活2	指標名	姉妹都市物産展の来場者数	人	3,267	㍲	1,917		
	実績につながる活動	姉妹都市物産展の開催				538		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	姉妹都市物産展については、天候が来場者数や開催可否に影響を及ぼす。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	商工業振興計画に基づく各施策の取り組み評価については、「中小企業等への経営支援」、「創業支援」の項目について、令和6年度の実績を下回ったが、全ての項目において平均点以上の評価を得られた。 姉妹都市物産展の来場者数は、2日目の天候不順により来場者が伸び悩んだ。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	アウトプットとなる取組が直接施策指標に寄与することから、アウトカム指標を設定することはなじまない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
方向性	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り	☒ ① 事業内容は現状通りとする		
		☐ 事業内容は見直し済	☐ ② 事業内容は見直す	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	
		☐ 事業を休止又は廃止済	☐ ③ 事業は休止又は廃止する		
方向性	予算規模の方向性	☐ 他事業と統合済	☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
		☒ 予算規模は現状維持	☒ ㊦ 予算規模は現状維持とする		
		☐ 予算規模は拡大済	⇒ ☐ ㊧ 予算規模は拡大する		
		☐ 予算規模を縮小済	☐ ㊨ 予算規模は縮小する		

課題への対応		結果	具体的な内容	
今後の取組方針（見直し方針）	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	経済のグローバル化が進んだことで、国際問題（紛争や政治情勢）が企業の経営に影響を与える要因となっている。市では、着実な施策を実施することにより、市内事業者の活動に寄与する取組を行っており、今後も、事業者の状況を捉え、必要な施策を行っていく。 また、姉妹都市物産展については、開催の方法等について見直していく。		上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	鎌倉市商工業振興計画については、本市固有のものであり、他市と比較が馴染まないため。
----------------------	---